

医学薬学教育部修士課程(医科学専攻)の三つのポリシー 【 修士(医科学) 】

大学院の目的 (大学院学則 第2条)
<p>本学大学院は、学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的とする。</p>

研究科・教育部(専攻)の教育研究上の目的
<p>教育部では、医学、看護学及び薬学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的とする。修士課程医科学領域医科学専攻では、医学・医療に関する幅広い知識を体系的、集中的に教育し、医学・医療分野の高度専門職業人を養成することを目的とする。(富山大学大学院医学薬学教育部規則)</p>

ディプロマ・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>【修了認定・学位授与の方針】 修了要件を満たした次の者に、修士(医科学)の学位を授与する。 医学・医療分野の高度専門職業人となるべく、1)基盤となる豊かな学識や俯瞰的、大局的視野、2)専攻分野における研究能力および高度の専門性を要する職業に必要な高度の能力、3)研究倫理に関する規範意識、4)自らが新たな知を創造し、その知からさらなる価値を生み出す能力、を身に付けている者。</p>	<p>【教育課程編成方針】 医学・医療分野の高度専門職業人となるべく、医学・医療に関する幅広い知識を体系的に身に付けさせる教育課程を編成する。学生が所属する研究室における個人指導により医学研究の基礎専門知識と技術を修得させる。また、新規性と学術的重要性を含む学位論文の作成と発表を指導する。研究倫理・研究方法論の受講・修了を義務付ける。</p> <p>【教育課程実施方針】 所属研究室を中心に、学生による能動的な学修を行う。1年次には、幅広い必修講義科目、選択科目を履修させ、医学の基盤的能力、高度な専門的知識、倫理観を修得させる。2年次には学位論文の作成と発表を指導する。</p>	<p>【入学者受入れの方針】 ・生命科学に興味を持ち、医学の基礎・臨床分野における基礎知識を修得し、最先端の知識に触れることにより、高度な専門職業人として様々な分野で活躍したい人材を求める。 ・医療系の社会人として、最先端の医学知識の涵養を図り、職場でのキャリアアップを図りたい人材を求める。</p> <p>【入学者選抜の基本方針(入試種別とその評価方法)】 多様な学生を受け入れるため、4月入学と10月入学を認め、年2回の入学者選抜を実施する。また社会人特別選抜を実施する。</p> <p>一般入試 入学者の選抜は、小論文、外国語(英語)筆記試験または外部英語試験、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。</p> <p>社会人特別入試 入学者の選抜は、外国語(英語)筆記試験または外部英語試験、業績審査、口述試験、志望理由書及び成績証明書の成績により、4年制学部卒業相当の学力、意欲、能力等について評価する。</p>
【学修成果の到達指標】	【学修内容、学修方法及び学修成果の評価方法】	【求める資質・能力】
<p>基盤的能力</p> <p>【学修成果】 研究分野における基本的な情報収集、論理的思考、情報発信ができる。英語論文の基本的な読解と解説ができる。研究内容について他者と基本的な議論ができる。</p> <p>【到達指標】 幅広い専門領域の中から選択科目を履修する。研究室や履修科目において、研究分野の知識や論文内容について議論できる能力を身に付けている。専門分野の学会等において、情報収集、議論、情報発信ができる能力を身に付けている。 医学薬学教育部で定める修了要件に必要な授業科目の単位を修得している。</p>	<p>【学修内容】 専門分野における知識の修得、英語論文の読解と紹介を行う。</p> <p>【学修方法】 能動的な学修による情報の収集、関連論文の収集と読解を学修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。 カリキュラムにおける必修科目の修得について、成績評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 研究分野に対する知的興味を持ち、能動的に学修を行い、初歩的な英語論文読解力を有し、他者と論理的に議論することに関心を有する者</p>
<p>専門的学識</p> <p>【学修成果】 専門分野の知識や論文内容について議論できる基本的な能力を身に付けている。専門分野の学会等において、情報収集、議論、情報発信ができる基本的な能力を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 専門分野における研究課題の解決方法が実践できる。研究成果を専門分野の学会で発表できる。</p>	<p>【学修内容】 専門分野における課題解決のための知識の収集、調査や実験の実施を行う。</p> <p>【学修方法】 専門分野科目の履修、研究室での論文の紹介や研究結果の発表、専門学会での研究成果の発表と議論を学修する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。 カリキュラムにおける選択科目等の専門分野科目の修得について、成績評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 能動的に学修を行い、関連分野の専門知識に関心を有する者</p>
<p>倫理観</p> <p>【学修成果】 研究不正について説明でき、研究倫理に関する基本的な規範意識を身に付けている。</p> <p>【到達指標】 研究倫理教育科目を履修し、合格している。必修科目「生物医学倫理学」の単位を修得している。研究に必要な研修(臨床研究、遺伝子組換え実験、動物実験、放射線使用実験など)を受講している。</p>	<p>【学修内容】 研究不正の事例や研究不正防止方法について学ぶ。</p> <p>【学修方法】 研究倫理教育科目を履修する。研究に必要な研修(臨床研究、遺伝子組換え実験、動物実験、放射線使用実験など)を受講する。</p> <p>【学修成果の評価方法】 執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。 「研究倫理・研究方法論」の合格、必修科目「生物医学倫理学」の単位修得により評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 一般的な倫理観、道徳論を身に付けている者</p>
<p>創造力</p> <p>【学修成果】 自身の研究成果をもとに、次の研究課題の設定と解決方法の考察ができる。</p> <p>【到達指標】 学位論文を執筆できる能力を身に付けている。学会等で、議論できる。 修士学位論文審査及び最終試験を受け、合格の判定を受けている。</p>	<p>【学修内容】 学位論文の作成方法、学会等での発表準備方法を学修する。</p> <p>【学修方法】 能動的な学修による学位論文作成、学会発表の準備を行う。</p> <p>【学修成果の評価方法】 執筆した学位論文の内容ならびに口頭発表について、学位論文評価基準に基づいて評価する。</p>	<p>【求める資質・能力】 幅広い知的興味をもち、創造性に対して関心を持つ者</p>